

施工時（現場吹付け時）の品質管理について（案）

1. 硬質ウレタンフォーム断熱材の熱伝導率の確保

硬質ウレタンフォーム断熱材（現場吹付け品）に関し、J I S A 9 5 2 6に規定する熱伝導率の値を確保するためには、硬質ウレタンフォーム原液そのものの品質管理のほか、施工時（現場吹付け時）の品質の管理を確保することが必要となる。

上記に関し、現在、以下のとおり品質確保に向けた取組がされている。

①硬質ウレタンフォーム原液の製造業者による取組

硬質ウレタンフォーム原液製造業者は、J I S A 9 5 2 6に基づき、以下の内容を吹付け施工業者に提供することが求められている。硬質ウレタンフォーム原液製造業者については、これらの情報提供により、吹付け品質の確保を図っている。

ア. 原液使用標準（原液の温度及び圧力、積層時の吹付け時間間隔等の吹付け条件）

イ. 施工上遵守すべき事項

ウ. 原液の取扱い及び廃棄上の安全に関する事項、等

②吹付け施工業者による取組

吹付け施工業者では、以下の取組により、吹付け品質確保を図っている。

ア. 吹付け施工業者の団体が発行した「品質管理基準」及び「熱絶縁施工ハンドブック」による、施工に関する知識の向上

イ. 職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）に基づく熱絶縁施工技能士資格による、吹付け施工の能力に関する第三者認証

2. 硬質ウレタンフォーム断熱材の施工時（現場吹付け時）の更なる品質確保に向けた取組

現在、上記に挙げた取組のほか、硬質ウレタンフォーム原液の製造業者の団体、吹付け施工業者の団体等が協同し、施工時の品質に関する第三者認証を経ての施工業者単位での硬質ウレタンフォームの断熱性能の認証制度の策定を検討している。

今後、これらの取組が促進されることにより、吹付け品質の更なる確保が期待される。

このほか、建築主等が吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材の採用に際し施工業者単位での断熱性能の認証制度の活用や熱絶縁施工技能士資格の取得確認を積極的に行うことが、吹付け品質の確保に重要である。